

第2期すこやかあきた夢っ子プラン（仮称）素案についての意見

平成26年11月3日

男鹿市 子育てカフェ・にこりーフ

小玉 由紀

「多子世帯への支援について」

将来的に、秋田県の多子世帯の割合を増やせるように、3人目以上の子育てへの不安、負担を軽減するような視点が必要だと思います。実際に、私の周りにも、3人以上の子育てをしている人達が多いからです。

今の実際の生の声、必要とされている支援を調査することが必要とされますので、地域ごとに実情を調査し、ニーズを把握していくと、データがつかみやすいかもしれません。

そうすることで、子ども子育て環境を整えるために、本当に必要なものが見えてくると思います。多子世帯の割合も、地域ごと、家族形態、環境など、さまざまな要因も見えてくると思います。金銭的な支援も必要ですが、子ども達が育ち合う成長過程、良い影響などもアピールすべきだと思います。具体的に、学費や生活費のやりくり術なども、先輩お母さん達から学べる場もあるといいなと思っています。

核家族世帯、同居世帯、子どもの年齢差・・・さまざまな家庭環境の多子世帯への支援につながるような施策をお願いしたいと思います。子育てしやすい秋田を全国にアピールできるようにと願っています。